

幼稚園の日々

二人が力を合わせて

幼稚園は子どもが一緒になって遊ぶところだ。その関係の原型は二人がかかるところにある。二人は何か一緒にやっている。互いだけを求めるのではなく、いつもまわりの何か面白そうな活動に開かれていく。一人が紙飛行機を飛ばし、もう一方が見つめる。ともに竹馬に乗り、真剣に歩こうとする。向き合ってじゃんけんをする。二人だけの活動であり、まわりにその達成を示すものであり、個の達成感であると同時に、二人の関係を強めるものである。仲良しであり、同志であり、探検仲間である。いつも同じ二人というわけではない。だが、その二人でいる時には二人ならではの関係となる。



◀五歳の男児二人が紙飛行機を飛ばす。ジャングルジムの上は格好の場所。

▶平均台でどーんけつちった(五歳の女児)。

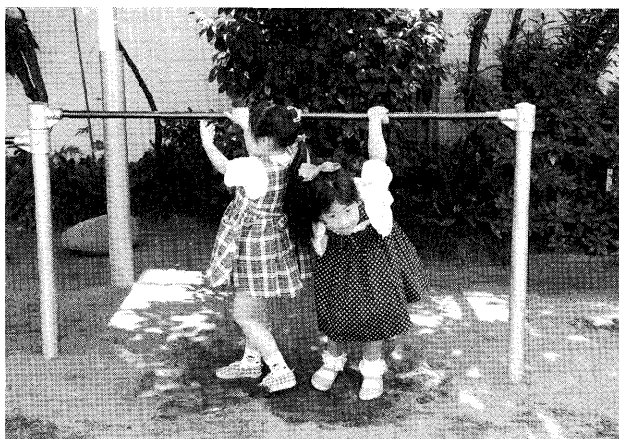




◀ 探検しているの。鳥小屋の裏の方で、柵の向こう下には走っている電車がみえる（五歳）。



▶ 倉庫から竹馬を出して。まだうまく出来ないが、ゆっくり根気よく挑戦する（四歳）。



◀ 鉄棒は技術を要するため年長さんが多いのか？ 見て見て出来るよ、と言われることも多い。

写真・樋口早百合
解説・無藤 隆
協力・目白幼稚園